

やっちく瓦版

鹿児島県志布志市松山町
発行 大隅の國
やっちく松山藩
やっちく瓦版所
TEL 099 (487) 2111
第9号 平成22年5月

大隅の國
やっちく松山藩
第二十一回

秋の陣まつり開催



平成21年11月7日(前夜祭)、8日(本祭)にかけて、「大隅の國やっちく松山藩第21回秋の陣まつり」が開催されました。



前夜祭では、地元の皆様方を中心にした舞台出演で盛り上がり、また、志布志ちりめん太鼓の迫力ある公演、感動的なア

ンデス・フォルクロレの歌声に、会場内のお客様も魅了されていました。翌日の本祭も天候に恵まれ、爽やかな秋晴れのもと会場内は5万人をこえるお客様の活気や熱気で溢れていました。武者行列でまつりの幕を開け、その後に執り行われた奉納儀式では、吉田救仁院守隆司第6代藩主の就任が高らかに宣言され、やっちく松山藩の新たな展開も期待されることとなりました。そして、さゆり保育園おゆづぎ、川路郷土芸能披露など魅力ある舞台が続き、歌手の香田晋さんによる歌謡ショーでは、場内一体となった演出で大変盛り上がりしました。



また今回、新たな取り組みとして「武者のぼり旗」を市内の皆様より大募集し、会場入口に立ち並べました。彩りも豊かで、なかなか見ることのできない勇壮な、今までにないまつりの雰囲気となり、感嘆の声があちこちからあがっていました。

やっちく松山藩の思いの一つである「もてなしの心」を念頭におき、御来場頂いた多くの方々が満足して会場を後にして下さる事を一番に考えました。まつりの別名を「只まつり」といわれるほどの無料配布「トナー」や、雰囲気を楽しんで頂くための「幻の夜城」などの様々な建築物、そして子どもからお年寄りまで日中楽しんでもらうための色々な舞台・イベント等々。藩主同一年を通して企画会議を重ね、2ヶ月近くにおよぶ準備期間、藩主同日夜努力を重ね、ようやく出来上がった「やっちく松山藩流」おもてなしです。いつもこのようないきさつで皆様をお待ちしておりますので、今回御来場の皆様はまた来年も、まだ来場されたことのない皆様には、是非次回足をお運び頂けるようよろしく御願い申し上げます。



六代目藩主 吉田救仁院守隆司

6代目藩主としての初めての「大隅の國やっちく秋の陣まつり」がなんとが無事に終了しました。多くのお客様の御来場を頂き厚くご安心といたしております。

地域づくり総務大臣表彰受賞



地域づくり総務大臣
表彰受賞をうけて
初代藩主 松原出雲守治美

十年たったら伝統になると、仲間と熱く語り合い大切に引き継いできたやっちく松山藩が、地域づくり団体として四回目の大臣表彰を受賞できたことを大変うれしく、また誇りに思います。継続は力、今では開藩二十二年目を迎えました。



祝・地域づくり
総務大臣表彰受賞
志布志市市議員 鶴迫 京子

志布志市誕生の年、市議にも「大隅の國やっちく松山藩秋の陣まつり」の参加案内があり、(体験こそ命)の私は願ってもないこと平成18年、初のなぎなた隊長、平成19年はなへの係で参加と、いきに「やっちく松山藩」の民(たみ)になりました。合併してよかつたなあとおづく思いました。

平成元年初代藩主の松原治美さんは、開藩20周年記念誌で述べられています。

活気のない松山を自分たちの手で夢のもてる町に変えようと、「町中の若者よ。同じ思いの者、この指とまれ！」の掛け声に150人以上の若者が手を握り結束した瞬間、夢の実現を確信した。

それから20年、若者による地域づくりへの情熱や、篤き思いのリーダーが今も歴史を刻んでいます。まさしく「やっちく魂」そのものです。

何ヶ月もの間、まつりのために流す汗と努力こそ、賞賛に値します。

これからも明るい元氣な志布志市を築くために、閉塞感のある世の中をユーモア溢れる発想で知恵をだしあい、時代のニーズに敏感に反応した地域おこしの取り組みを期待いたします。

「地域づくり総務大臣表彰」の栄えある受賞、本当におめでとうございませう。

心より、謹んでお喜びを申し上げます。



松山火祭り

新橋 鬼火焚き



松山小学校 校長 吉井 清子
 新橋地区のすばらしさは、校区公民館を中心に子ども会組織を初めとする地域組織が融合し、様々な体験活動が進化しながら継承されていること。その中で後継者育成が図られていることです。鬼火焚きもその一つ。寒さの中、天高く燃え上がる炎に暖かさとともに畏敬の念を感じました。年男にも年女にも、新橋地区のすべての人々に福が舞い降りてほしいと念じた今年の鬼火焚きでした。

泰野 鬼火焚き



会長 假屋 正一
 第十三回鬼火焚きを開催し、子どもから大人まで一緒に楽しみや餅つき大会などで大いに盛り上がりました。六年生による抱負を発表してもらい、鬼火焚きの火勢にも負けないうらい今後頑張りたいと思います。それと同時に、泰野校区の青少年の健全育成の為、家庭、学校、地域が更に連携を深め、未来を担う青少年を心身ともに健全に育てていけるよう努めていきたいと思ひます。

尾野見 おおのみ焼き



中島 新互
 「尾野見地区ふるさとづくり委員会」「おおのみ会」では、子どもたちに「魅力ある地域」を残そうとする活動を行っています。サンサン広場で、夏はひまわり、秋はコスモス・ソバと季節を目で楽しめます。昨年に引き続き、子どもたちに明るく楽しく誇れるふるさとを残したいと考え、二月八日に鬼火たきならぬ「おおのみ焼き」を尾野見、宮下集落井手牧場牧草地斜面で実施しました。

志布志市ふるさとまつり IN 有明に子ども広場が出張

昨年 12 月 6 日、有明開田の里公園において、第 4 回志布志市ふるさとまつり IN 有明が盛大に開催されました。やっちく松山藩は前回に引き続き、子ども広場を出張して祭りに参加しました。子ども広場では毎回子どもたちに好評な「いもフェスタ」や「ストラックアウト」を、前日から道具運びや設置など準備を行いました。

当日は風が強く、寒かったにもかかわらず、晴天に恵まれ、祭りは 3 万人の人出でにぎわいました。やっちく松山藩子ども広場にも、何度も何度も挑戦する子どもや、子どもに手本を見せようと頑張るお父さんなど、たくさんの方が遊びにいらして、大変喜んでくれました。

(児玉 憲一)



H21.11.1 第2回志布志市やっちく旗剣道大会



H21.10.18 おおすみフェスタ in AMU



H21. 9. 29 黒崎井筒屋 鹿児島物産展オープニングセレモニー

やっちく藩士いざ出陣!



名前 加世田 貴博
 誕生日 昭和 54 年 7 月 12 日
 仕事 花農家
 趣味 音楽・ネット

コメント
 花づくりに頑張っています。やっちくを楽しくしていきます。

ひよつとご会 組織紹介について

中尾 秀昭
 私たちひよつとご会は、旧松山町役場時代からやっちく松山藩の下支えとして祭りの運営や関連行事に積極的に参加してまいりました。現在、会員数は 48 名おりますが、近年の職員数の減少や合併に伴う退職等により会員数は年々減少してきております。市職員としての日々の業務や合併により有明本庁や志布志支所に会員が散らばってしまったため、祭り以外の活動参加状況はあまり良くない状況ですが、微力ながら、これからやっちく松山藩の活動に積極的に参加していきたいと考えております。

編集後記

第九号 やっちく瓦版の発行に際しまして、多くの方々からの協力をいただき厚く御礼申し上げます。「目には青葉 山ほととぎす 初鯉(山口素堂)の句が心地良い季節となりましたが、おとなり宮崎県で牛の口蹄疫が発生し、その煽りを受け毎年、四月二十九日に志布志市宝満寺を中心に催されます県下三大祭りに称される「お釈迦祭り」が残念ながら中止となりました。口蹄疫の早急な収束を願います。やっちく松山藩では今回、地域づくり総務大臣表彰を受賞いたしました。大変誇らしく又、喜びと共に、二十年以上という歴史の重みを感じました。これからもこのやっちく瓦版では、やっちく松山藩の活躍を余す事無く紹介して参りますので、ご愛読いただけます様、宜しくお願い申し上げます。

やっちく瓦版編集所

- 編集長 渡邊 春宣
- 副編集長 阿瀬知 匡
- 編集員 大野・末原・山下
- 顧問編集員 吉田隆司
- 坂元正人
- 野村広志

今後の予定

- 7月 しぶしみなとまつり
- 9月 第22回 秋の陣まつり 動員開始
- 10月 出陣式
- 11月13日 第22回 秋の陣まつり 前夜祭
- 11月14日 第22回 秋の陣まつり 本祭